

「見え方が変わったシンガポール研修」 Eさん

私がシンガポールグローバルリーダー育成研修に参加した理由は小学生の頃に英会話を習っていて、当時から英語に興味を持っており、将来英語を使う仕事に就きたいと思っているので実際に海外に行って現段階の自分はどのくらい話せるのか自分の英語力がどのくらい足りないのか知りたかったからです。また、今世界が抱えている問題について現地の人々はどのような考え方をしているのかを知り、一緒に意見交換をして考えたいと思ったからです。

2日目には SMU の学生さん達と話す機会があり、海外の方とコミュニケーションをとるのは初めてだったので緊張しました。何を言っているのか理解はできてもそこから質問が思いつかなくて話を聞いているだけということが多かったと思います。同じグループの2年生が積極的に学生さんと話しているのを見て自分もこうならないといけなと感じました。3日目からは本格的なプログラムが始まって NUS の学生さんと一緒にディスカッションなどをしました。NUS の学生さんは SMU の学生さんより喋るスピードが速く感じて始めは聞き取るだけで精一杯だったけれど日を重ねるごとに自分から質問したりこれは自分が発表しますと自分から言えたりできて達成感が感じられました。反省点としてはチームリーダーがいるのに友達同士で日本語で話してしまったり、友達の圧に負けてしまったりして、積極的にいけない部分があったと感じます。私が研修のなかで一番心が動かされたのは高津高校卒業生のゲストスピーカーです。初めにゲストスピーカーの方を見たとき、とてもポジティブそうな方に見えました。それが本当にポジティブな方で、やってみようという精神でこれいいかもと思ったらやる方法を探し、機会があったらつかむことが大切だと教えていただきました。「見方が変われば強みが出てくる。」自分は必ずみんなのもっていない強みを持っている。自分の強みを知ってもらってやる気をあげ、自信にかえるのだという言葉も印象に残りました。私が困難に立ち向かったとき、どう対応していますかと質問すると難しいことはあまり起こらない、なんとかなる。難しいことがあったとしてもそれは誰もが同じである。だから私だったらこうすると考えることが大切だと教えていただきました。この言葉も強く印象に残っています。私は元々ポジティブではある方ですが、研修から帰ってきてもっとポジティブになった気がします。何事にも怖がらずに挑戦し、やらずに後悔するより、やって後悔しようと思います。

また、5日目のゲストスピーカーの方からは失敗は存在しない、失敗してもそこから成功に導くということを教えてもらいました。一步を踏み出してやってみること、そして諦めずに量をこなす人にならなければいけないと感じました。

私はこの研修を通して考え方が大きく変わりました。まず、すべてのことに積極的に怖がらずにやってみることが大切だと一番考えさせられました。現地の学生さんとの交流も自分から話さないと身につく力は少ないと思います。挑戦してみて困難や失敗に陥ることがあるかもしれないけどそこで諦めるのではなく、そこからが大事で自分がどうすればいいのかじっくり考えてポジティブに進めば必ず成功という場所にたどり着けるのではないかと思います。これからの人生、この研修で学んだことを無駄にしないよう心に留めて生きていこうと思います。